

地域に学び 魅力と課題を肌で知る



世羅高原の6次産業を訪ねた地域課題演習。幸水農園での広島大学との協働作業(世羅町)

観光振興による地域創生に向けた人材育成事業

大学・地域・企業 つながり通信

広島市立大学COC+ニュースレター

vol.009

2018.12



①



②

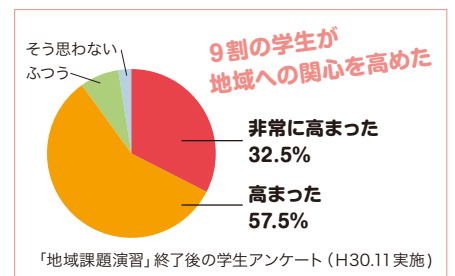


③



④

- ①離島の「非日常性」を体感する(三原市佐木島)
- ②瀬戸内のハワイ周防大島の島暮らしを体験し、島移住の課題と魅力を知る(周防大島町)
- ③しまなみ海道を自転車で走って行動情報を収集する(尾道市)
- ④瀬戸内海の水産と魚の楽しみ方を知る(呉市)



7つの市町で「地域課題演習」を実施

地域を学びのフィールドとする「地域課題演習」を、今年度は7つの自治体(広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、周防大島町、世羅町)で展開し、2・3年生54人が取組みました。

地域ごとに設定した7つのテーマに沿っ

て、学生は事前学習を深め、現場での活動や人々との交流により、魅力や課題を再認識し、合同発表会によって活動成果を共有しました。

演習後のアンケートでは90%の学生が地域への関心が高まったと答え、こ

うした「地域性への目覚め」が、3年次以降の地域貢献プログラム科目の履修や専門分野での積極的な学びに繋がり、自らのキャリアデザインを考える上においても、地域への意識をさらに高めていくことが期待されます。



広島大学 / 広島経済大学 / 広島工業大学 / 広島修道大学
安田女子大学 / 比治山大学(協力校) / 広島市立大学

7大学による連携事業

今年度も宮島で12月8日・9日に開催



「大学連携による学生の観光研究・活動発表会」を、昨年度に引き続き開催しました。12月8日と9日の2日間、会場は広島経済大学の宮島セミナーハウス成風館。7大学から参加した学生は64名、教員は21名でした。

多彩な研究・活動を披露

発表したテーマは12。参加大学の学部や専門領域が異なるなか、今回も学際的な発表となりました。「宮島の観光」「広域・周遊観光」「地域資源と観光」という

発表テーマ (大学/参加学生数/指導教員)

【宮島の観光】

- ① 宮島の魅力を多角的に発信するための取り組み (広島経済大学/8名/濱田 敏彦 教授)
- ② 宮島・町家通り活性化大作戦 (広島工業大学/4名/伊藤 雅教授)
- ③ 宮島の新しいお土産提案展示「これも!? 宮島展」 (広島市立大学/6名/南 昌伸 教授、永見 文人 教授)
- ④ 宮島における歩行者交通量の平準化方策に関する検討 (広島工業大学/2名/伊藤 雅 教授)



【広域・周遊観光】

- ⑤ 大学生による広島市内戦跡ガイド (広島経済大学/2名/竹林 栄治 准教授)
- ⑥ さんざい呉線～市内だけで満足しちゃいけないじゃろ! (安田女子大学/10名/畑井 淳一 教授)
- ⑦ 『扇ノ山を源とする殿ダムと浦富海岸、「匂」体験ツアー～人と水とが創造する、遊・食・景 その見聞はきっと永遠になる!～』の企画考案 (比治山大学/5名/山田 知子 教授)
- ⑧ 広島のええとこルートマップ!!! (広島修道大学/15名/富川 久美子 教授)

【地域資源と観光】

- ⑨ 離島の「非日常性」の発見と活用 (広島市立大学/4名/佐藤 俊雄 特任教授)
- ⑩ 大学生まちづくりコンテスト2018へ向けての取り組みと成果報告 (比治山大学/2名/臺 純子 教授)
- ⑪ サステナブルツーリズム (安田女子大学/3名/ジャーマンウォルシュ・ジョイ 講師)
- ⑫ 「負の記憶に向き合うために観光ができること～広島・福島・呉から考える～」 (広島大学/3名/張 慶在 講師、フंक・カロリン 教授)

分類で成果が披露され、前回にも増して各校のプレゼンテーションが向上し、質疑応答も活発に行われました。学生は、改めて「観光」へのアプローチの多様性を認識しました。

発表の後は、広島の豊かな食資源についての勉強会と意見交換の場を設け、大学の枠を超えた交流を深めました。

2日目は、現地講義として、宮島の景観保全の歩みや、「町家通り」の空間特性などの講義があり、町歩きでは、実際に歴史的な町家建築を保存活用している広島市立大学サテライトハウスでの作品展示(宮島の新しいお土産の提案)も見学しました。

参加した学生へのアンケートでは、97%が「発表会に参加して、広島地域の観光について関心が高まった」、96%が「他大学の学生との交流の場に参加することで学習・研究上の刺激を受けた」と回答しました。

COC+の協働研究事業として、非常に特色のある大学間交流プログラムとなっています。来年度も継続を検討し、学生の地域観光への学習意欲を高め、さらに地域を志向するマインドやネットワークを醸成します。

プログラム

- 【1日目】 ①学生の研究・活動発表(7大学,12テーマ)
②広島の食資源勉強会兼交流会(広島市立大学 國本善平 特任教授) - 宿泊 -

- 【2日目】 現地講義(テーマ:町家通り)
①宮島の景観保全—これまでとこれから(広島市立大学 佐藤俊雄 特任教授)
②宮島の「町家通り」の町家と町並みの空間特性、及びその活用・観光資源化(広島工業大学 森保洋之 名誉教授)

現地視察(町歩き)



地元の企業経営者を招いてパネル討論会



企業のトップの経営理念から何を学ぶか。学生の地元就職への意識を高め、地域の企業をより深く知る機会を提供するため、昨年度に続いて、地元企業の経営者を招聘したパネル討論会を11月20日に開催し、学生との意見交換会が活発に行われました。

参加学生47名、教職員22名の計69名。アンケートの結果、96%の参加者が地元企業が求める人材について企業の考えや思いが伝わったと回答しました。

【招聘した経営者】

- ㈱イワタ木工 代表取締役社長 岩田 知真氏
㈱インタフェース 代表取締役社長 妹尾 年朗氏
㈱モルテン 代表取締役社長 民秋 清史氏

